

「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成28年 6月 10日

仕事の内容	教職員研修事業に伴う謝礼				
担当部署・課長名	指導室	課	指導	係	課長名 岡田 博史

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 学校教育の充実

(総合計画書 31 ページ)

予算名	款 10	教育費	項 1	教育総務費	目 3	教育指導費	事業 12	教職員研修事業費	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市立小・中学校に在籍する教職員。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 研修会の回数			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 市立小・中学校に在籍する教職員の資質の向上を図ることを目的にしている。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 教職員から提出される復命書			
	③ そのために何をしましたか。 都教育委員会が実施するもののほか、市教育委員会でも様々な研修を実施しており、内容に応じて外部講師を招いている。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → 講師謝礼			

2 指標の推移			単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
	対象指標	①の数値	回	43	43	62		
	成果指標	②の数値						
	目 標	②の目標値						
		目標値設定の考え方						
	活動指標	③の数値		345,500	237,000	535,000		

3 経費	事業費		円	345,500	237,000	535,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	345,500	237,000	535,000	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.02	0.02	0.02	
		所要人数(再任用)	人				
事業費+人件費		円	510,160	401,660	699,660		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 教職員も団塊世代が大量に退職し、若年層の比率が高まっており、それらの教職員の養成が必要となっている。また、教育環境が変革している中、様々な教育課題に対応するため、教職員の資質の向上が急務となっている。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	教職員の指導力向上について、意見が寄せられている。	

仕 事 の 内 容	教職員研修事業に伴う謝礼					
担当部署・課長名	指導室	課	指導	係	課長名	岡田 博史

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取組みは無い	取組手法 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
	(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。		
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。		
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など) 研修の実施は、教職員の資質の向上を図ることが最大の目的であり、優秀な人材を養成するためには必須である。経費等を増やさずに、研修内容を見直すことで、より効果的な事務事業を執行するための創意工夫を重ねることが重要である。		
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。		
	(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成 果	成果を向上させる。	経 費	仕事の経費は維持する。